



硬化物の性状				
試験項目	単位	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7208	23°C×32時間(気中)	25
			23°C×3日(気中)	50
			23°C×7日(気中)	60
			23°C×14日(気中)	65
			23°C×3日(水中)	20
			23°C×7日(水中)	35
			23°C×14日(水中)	50
圧縮弾性率	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7208	23°C×3日(気中)	1000
			23°C×7日(気中)	1500
			23°C×14日(気中)	1600
			23°C×3日(水中)	600
			23°C×7日(水中)	1100
			23°C×14日(水中)	1200
圧縮せん断接着強度 (セメントモルタル相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 5600	23°C×7日(水中)	3.0 MF以上
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7203	23°C×7日	50
引張強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7113	23°C×7日	35
接着強度 (セメントモルタル相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024	23°C×7日(気中)	6 以上
			23°C×7日(水中)	3 以上
引張せん断接着強度 (鋼材相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6850	23°C×4時間	1以上
			23°C×1日	15
			23°C×7日	20
衝撃強度	N·mm/mm <sup>2</sup>	JIS K 7111	23°C×7日	1.7
硬度	ショア-D	JIS K 7215	23°C×7日	80

※MF:セメントモルタル破壊 CF:コンクリート破壊 COF:接着剤破壊  
 ※本記載の物性は当社研究室で採取した代表結果であり、保証値ではありません。

## 梱包形態

10.0kg / 9.0Lセット

主剤 6.7kg (角缶)

硬化剤 3.3kg (角缶)

\* 300kgセットもあります。

## 使用方法

- ①施工面の粉塵、油分等を除去して下さい。
- ②主剤・硬化剤を混合比に従い計量、混合し空気の巻き込みに注意し十分に攪拌して下さい。
- ③一度に混合する量は可使時間内に使いきれれる量として下さい。
- ④器具に付着したり、はみ出した樹脂は硬化する前にアセトン等有機溶剤でふきとって下さい。
- ⑤注入後エポキシ樹脂が硬化するまで、施工個所に振動や衝撃を加えないように養生して下さい。
- ⑥施工は5°C以上の環境で行って下さい。

※製品改良のため、予告なく記載事項を変更することがあります。

## 注意事項

- ・直接皮膚に接触すると、カブレを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたっては、SDSをお読みください。

**アルファ工業株式会社**  
**ALPHA KOGYO KK**

横浜本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550  
 URL: <http://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: [alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp](mailto:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp)  
 1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA, 230-0045 JAPAN  
 神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282  
 6-3-3 ASHIHARATOURI, HYOGO-KU, KOUBE-SI, 652-0082 JAPAN